



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 安永

コード番号 7271 URL <http://www.fine-yasunaga.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安永 暁俊

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長

(氏名) 浅井 裕久

TEL 0595-24-2122

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	27,666	5.3	1,203	△37.4	1,130	△35.6	772	△30.0
23年3月期第3四半期	26,274	61.1	1,923	—	1,755	—	1,103	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 586百万円 (△47.0%) 23年3月期第3四半期 1,107百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	64.56	—
23年3月期第3四半期	92.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	30,488	10,751	35.3
23年3月期	28,211	10,428	37.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 10,751百万円 23年3月期 10,428百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,600	0.4	1,200	△56.7	1,070	△57.1	720	△58.3	60.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	12,938,639 株	23年3月期	12,938,639 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	975,083 株	23年3月期	975,004 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	11,963,588 株	23年3月期3Q	11,963,635 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災以降サプライチェーンの復旧に伴い企業の生産活動は回復傾向にありましたが、欧州債務問題を発端とした世界経済の減速や急激な円高進行、さらにはタイの洪水影響などが重なり、全体として厳しい状況で推移しました。

当社グループの主要販売先である自動車業界においては、国内では震災やタイの洪水による部品供給制約の影響などにより、2011年の新車販売台数が2年ぶりに前年割れとなりました。海外では、新車販売台数3年連続世界1位となった中国をはじめとする新興国が市場拡大を牽引し、さらには米国市場の回復も見られました。一方、太陽電池業界においては、欧州市場の減速や市況見通しの悪化などを受けて、市場は低迷しています。

このような企業環境下、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高276億66百万円（前年同期比5.3%増加）、営業利益12億3百万円（前年同期比37.4%減少）、経常利益11億30百万円（前年同期比35.6%減少）、四半期純利益7億72百万円（前年同期比30.0%減少）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

【エンジン部品事業】

震災およびタイの洪水による影響などにより、売上高は187億4百万円（前年同期比3.4%減少）、営業利益は9億81百万円（前年同期比28.9%減少）となりました。

【機械装置事業】

自動車向けの工作機械では、海外向けを中心に売上は増加しました。

一方、太陽電池関連においては、市場環境の悪化を受けて、中国向けをはじめとした顧客の新規設備投資が大幅に抑制されたため、特に第3四半期はワイヤソーなどの売上が大幅に落ち込みました。

その結果、売上高は69億43百万円（前年同期比45.9%増加）、営業利益は1億7百万円（前年同期比45.2%減少）となりました。

【環境機器事業】

エアポンプの販売が、国内は前年並みであった反面、海外向けが市場の冷え込みや在庫調整などを受けて大幅に減少したため、売上は低調となりました。利益面では材料価格の高騰や新規事業であるディスプレイシステム事業がマイナス要因となりました。その結果、売上高は17億78百万円（前年同期比7.8%減少）、営業利益は51百万円（前年同期比78.1%減少）となりました。

【その他の事業】

当セグメントには、運輸事業およびサービス事業を含んでおります。

売上高は2億40百万円（前年同期比9.1%増加）、営業利益は25百万円（前年同期比35.6%増加）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ22億76百万円（前連結会計年度末比8.1%）増加し、304億88百万円となりました。

（流動資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ16億29百万円（前連結会計年度末比9.6%）増加し、186億71百万円となりました。

この増加の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加12億15百万円等によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ6億48百万円(前連結会計年度末比5.8%)増加し、118億17百万円となりました。

この増加の主な要因は、有形固定資産の増加8億86百万円等によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ2億50百万円(前連結会計年度末比1.9%)増加し、137億36百万円となりました。

この増加の主な要因は、未払法人税等の減少9億11百万円等がありますが、短期借入金の増加10億50百万円等によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ17億3百万円(前連結会計年度末比39.6%)増加し、60億円となりました。

この増加の主な要因は、長期借入金の増加19億67百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ3億23百万円(前連結会計年度末比3.1%)増加し、107億51百万円となりました。

この増加の主な要因は、利益剰余金の増加5億9百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、タイの洪水及び太陽電池業界の市場低迷の影響等により、平成23年10月13日に公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成24年2月10日公表の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,868	3,886
受取手形及び売掛金	6,200	7,416
商品及び製品	987	814
仕掛品	3,194	3,778
原材料及び貯蔵品	1,340	1,446
繰延税金資産	337	116
未収入金	559	474
その他	817	979
貸倒引当金	△265	△239
流動資産合計	17,041	18,671
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,302	8,461
減価償却累計額	△5,532	△5,670
建物及び構築物(純額)	2,769	2,790
機械装置及び運搬具	20,752	21,269
減価償却累計額	△17,076	△17,323
機械装置及び運搬具(純額)	3,675	3,946
工具、器具及び備品	6,343	6,334
減価償却累計額	△6,011	△5,987
工具、器具及び備品(純額)	331	347
土地	1,911	1,911
建設仮勘定	873	1,452
有形固定資産合計	9,562	10,448
無形固定資産		
のれん	69	57
その他	79	65
無形固定資産合計	148	122
投資その他の資産		
投資有価証券	569	441
繰延税金資産	135	207
その他	1,234	1,074
貸倒引当金	△481	△478
投資その他の資産合計	1,456	1,245
固定資産合計	11,168	11,817
繰延資産		
開業費	1	—
繰延資産合計	1	—
資産合計	28,211	30,488

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,923	5,632
短期借入金	950	2,000
1年内返済予定の長期借入金	2,119	2,161
1年内償還予定の社債	60	60
未払金	2,277	2,857
未払法人税等	928	17
賞与引当金	526	239
工事損失引当金	10	12
訴訟損失引当金	38	38
設備関係支払手形	42	28
リース資産減損勘定	223	223
その他	384	464
流動負債合計	13,486	13,736
固定負債		
社債	240	210
長期借入金	3,120	5,087
繰延税金負債	51	—
退職給付引当金	68	72
役員退職慰労引当金	66	56
環境対策引当金	96	96
資産除去債務	83	74
長期リース資産減損勘定	569	402
固定負債合計	4,297	6,000
負債合計	17,783	19,736
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142	2,142
資本剰余金	2,114	2,114
利益剰余金	6,631	7,141
自己株式	△330	△330
株主資本合計	10,558	11,067
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112	66
為替換算調整勘定	△243	△382
その他の包括利益累計額合計	△130	△316
少数株主持分	0	0
純資産合計	10,428	10,751
負債純資産合計	28,211	30,488

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	26,274	27,666
売上原価	22,041	23,800
売上総利益	4,232	3,866
販売費及び一般管理費	2,309	2,662
営業利益	1,923	1,203
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	6	6
受取賃貸料	19	17
貸倒引当金戻入額	—	30
その他	20	37
営業外収益合計	52	98
営業外費用		
支払利息	110	67
為替差損	61	68
貸倒引当金繰入額	27	—
その他	19	35
営業外費用合計	219	171
経常利益	1,755	1,130
特別利益		
固定資産売却益	1	35
貸倒引当金戻入額	4	—
環境対策引当金戻入額	4	—
その他	0	—
特別利益合計	9	35
特別損失		
減損損失	5	8
固定資産除却損	10	5
投資有価証券評価損	—	48
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	76	—
関係会社株式売却損	0	—
特別損失合計	93	62
税金等調整前四半期純利益	1,672	1,103
法人税、住民税及び事業税	553	202
法人税等調整額	15	129
法人税等合計	568	331
少数株主損益調整前四半期純利益	1,103	772
少数株主利益	0	0
四半期純利益	1,103	772

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,103	772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	△45
為替換算調整勘定	△15	△139
その他の包括利益合計	4	△185
四半期包括利益	1,107	586
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,107	586
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	19,364	4,759	1,929	26,053	220	26,274	—	26,274
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	27	0	28	353	382	△382	—
計	19,364	4,787	1,930	26,082	574	26,656	△382	26,274
セグメント利益	1,381	196	235	1,812	18	1,831	92	1,923

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額92百万円には、セグメント間取引消去92百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「環境機器」セグメントにおいて、吸収分割による事業承継に伴い、当第3四半期連結累計期間において、のれん77百万円が発生しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	18,704	6,943	1,778	27,426	240	27,666	—	27,666
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	212	—	212	420	633	△633	—
計	18,704	7,155	1,778	27,639	661	28,300	△633	27,666
セグメント利益	981	107	51	1,140	25	1,165	37	1,203

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額37百万円には、セグメント間取引消去37百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。